

秋田市教育委員会  
会 議 録

令和4年2月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和4年2月定例会会議録

- 1 日 時 令和4年2月15日(火曜日)  
午後3時30分～午後4時40分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長  
教育委員  
教育委員
- 4 出席職員 教育次長  
教育次長  
総務課長  
総務課参事  
学事課長  
学校教育課長  
学校適正配置推進室長  
生涯学習室長  
総務課長補佐  
総務課副参事  
教育研究所副所長  
学校適正配置推進室副参事  
生涯学習室長補佐  
生涯学習室副参事  
総務課主席主査  
教職員室主席主査  
教育研究所主席主査  
総務課主査  
教育研究所主査  
総務課主任  
総務課主任

## 5 議 題

### 【付議案件】

議案第1号 第6次秋田市社会教育中期計画の策定について

議案第2号 第3次秋田市子ども読書活動推進計画の策定について

### 【協議事項】

(1) 令和3年度2月補正予算（案）（追加提案）に関する件について

### 【教育長等の報告】

(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

## 6 議 事 午後3時30分開会

### 【欠席の報告】

委員2名から定例会を欠席する旨の届出があったことについて、教育長が報告した。

### 【令和4年1月定例会会議録の承認】

令和4年1月定例会会議録について、異議がないため承認された。

### 【会議録署名委員の指名】

教育長が今回の会議録の署名委員として委員2名を指名した。

### 【非公開の議決】

教育長 協議事項(1)「令和3年度2月補正予算（案）（追加提案）に関する件について」は、今後議会に提出され、審議される案件であるため、現段階では公の場で審議した場合、事務局の説明や、我々を含め出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがある。

したがって、これらの案件については「地方教育行政の組織

及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書の規定により、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

#### 【付議案件】

議案第1号 第6次秋田市社会教育中期計画の策定について

教育長 議案第1号「第6次秋田市社会教育中期計画の策定について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

委員 全体的によくまとめられていると思う。パブリックコメントについてだが、前向きな意見が多く、市民の皆様にもよく考えていただいている印象を持った。学校教育や社会教育のほか、乳幼児教育や青少年教育など、各々が一体となって進めていくことが重要であり、今後も本市の社会教育のため、より一層努めていきたいと改めて感じた。

委員 寄せられたパブコメについて、計画原案の修正はないとのことだが、どのように生かされるのか。

生涯学習室長 既に事業を行っているものや、計画に盛り込まれているものは修正していないが、「参考とさせていただきます。」としているものについては、今後の取組の際に参考とするものである。

委員 意見にもあるが、学習希望者にとって必要な情報が探しにくい状況があるため、今後改善が必要かと思う。

生涯学習についてだが、今は新しい情報が次々に入り込んでくるため、一度学んだことが生涯そのまま役立つという時代ではないこと、そして人間の発達には生涯に渡るという考えもあるため、学びは続けていかなければならないと思うが、同時に、学びで終わるのではなく、学んだことを教える側として還元していくことが重要であると感じた。

教育長 生涯学び続けることは、生活を豊かにし、明日への希望が広

がるなど、生きるための原動力となるものであり、社会教育の充実、学校教育とともに非常に重要なものである。今回の計画は、事業と評価の一体化が図られており、事業の評価がまた事業に返ってくるというサイクルが回ることにより、社会教育の充実に繋がっていくものと思う。

※ 議案第1号については、全員賛成により、議決された。

#### 議案第2号 第3次秋田市子ども読書活動推進計画の策定について

教育長 議案第2号「第3次秋田市子ども読書活動推進計画の策定について」、事務局から説明願う。

生涯学習室長 (資料に基づき説明)

教育長 県立の特別支援学校が対象ではない旨のパブリックコメントもあったが、国、都道府県、そして市町村の計画がそれぞれあるため、本計画の対象としている学校は、秋田市立の学校ということによろしいか。

生涯学習室長 根拠法に基づいて、国、県、市ではそれぞれ計画を策定しており、本計画における学校での取組は、秋田市立の小中学校、秋田商業高校、御所野学院高校、公立美術大学附属高等学院が対象であり、特別支援学校については県の計画の対象に含まれている。特別な配慮を必要とする子どもへの読書活動については、図書館の取組の中で支援することとしており、例えば点字資料やLLブックなどの充実を図っていくこととしている。

教育長 特別な配慮を必要とする子どもは、各小中学校にも在籍しているが、学校にもそのような図書や資料が整備されているか。

生涯学習室長 具体的な整備状況は把握していないが、学校における資料の充実も図っていきたい。

委員 ブックスタート推進事業や、かぞくぶっくぱっく事業など、本市は様々な読書活動の施策があると思っている。パブリックコメントにもあるが、他自治体からの転居者に当市の施策について意見をいただき、今後に生かすことが重要である。

生涯学習室長 市民から意見を聞く機会として、図書館で年1回、アンケート調査を行っている。例えばアンケートの中に、転入者の場合は転入前自治体と比べてどうか、等の問いを設けて実施したり、次期の計画策定の際に同様のアンケートを行い参考とする手法もあると考えている。

委員 委員のお話のとおり、当市は家庭での読書活動を支援する施策も充実している印象である。子どもへの本の読み聞かせは、親子の関係作りや子どもの発達に非常に重要であるため、保護者へ様々な情報提供をすることで、子どもたちの成長に繋がればと思う。

生涯学習室長 子どもの発達段階に応じた各事業を、各関係機関が総合的に取り組むことで、読書活動の推進に繋がるものと考えている。今後も各関係機関と連携しながら取組を進めてまいりたい。

※ 議案第2号については、全員賛成により、議決された。

#### 【教育長等の報告】

(1) 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について

教育長 報告(1)「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における秋田市の結果について」、事務局から説明願う。

教育研究所副所長 (資料に基づき説明)

教育長 50メートル走について、小学生、中学生ともに全国平均を下回る傾向は今年も見られた。一方で、中学校女子について、全国平均を上回る種目が多くあったという結果であった。

委員 50メートル走についてだが、全国平均を下回る原因は、何と捉えているか。

教育研究所副所長 スタート時の反応が遅かったり、ゴールが近付くと力を緩めてしまう場面が見られるため、走り切ることが重要である。腕振りや足の振上げなど、走行中の姿勢をICT機器を利用し、子どもたち同士で動画を確認し合ったり、教員が指導に生かし

たりする等工夫を図っていく。

委員 学校訪問では、子どもたちが楽しそうに体育の授業に取り組んでいる姿をよく見る。体を動かすことは楽しいと感じられることを大事にしながら、授業やスポ少等に繋げられれば良いと思う。

委員 中学校女子の全国平均を上回った種目が増えたことなど、何か学校での取組があったかと思うが、学校間で共有する機会はあるか。

教育研究所副所長 教員に配布している指導資料に、結果や課題を掲載して共有している。体育学習指導推進委員会による課題克服のための情報等も掲載されている。

教育次長 今回の中学校女子の結果についてだが、調査結果全体が向上したこともそうだが、「運動が好き」や「動きの質が向上していることを実感する」と回答した割合が上がっており、意欲自体が向上しているということは、教員の指導の成果と捉えている。50メートル走が全国平均を上回れないことについては、指導資料に改善のための方策も掲載してはいるが、なかなか改善できていない状況である。これからも引き続き支援してまいりたい。

教育長 質問紙調査の「新型コロナウイルス感染症の影響前と比較し、運動等を行う時間が増えた割合」とあるが、どのような回答の選択肢があったのか。

教育研究所副所長 「増えた」、「減った」、「変化なし」の3択である。

教育長 中学校女子で「減った」と答えたのは相当数いたか。

教育研究所副所長 35.2%が「減った」と答えている。平均運動時間は、平成31年度に比べて全国的に減少しているが、本市よりも全国平均の方がさらに大きく減少している。本市の子どもたちは、コロナ禍においても意識して運動やスポーツに取り組んでいたことが、「増えた」と答えた割合が全国平均よりも多かった原因ではないかと考えている。

教育長 コロナ禍は子どもたちの運動機会にも影響を与えており、運

動する機会を確保することが重要である。全国平均よりも割合自体は多いが、当市の中学校女子だけでみると「増えた」より「減った」の方が多くは、課題と捉えなければならない。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 報告(2)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

委員 広面小、太平小、下北手小学校の統合準備委員会について、統合後の校名は広面小学校で、校章と校歌は広面小学校のものということだが、他の2校から意見はなかったか。

学校適正配置推進室長 広面小学校の校歌に「太平」という歌詞もあること等の理由で、校歌のほか、校名などについても委員から反対意見はなかった。

教育長 秋田北中、飯島中学校統合検討委員会の確認事項について、統合時期の目途を令和15年度としているが、本格的な統合の検討はいつ頃からか。

学校適正配置推進室長 統合時期の目途を令和15年度とし、年1回の協議を継続していくこととなったため、今後は、生徒数や新生児の数等のデータを毎年示していく予定であるが、それにより統合の時期が前倒しとなる場合も考えられる。また、その時点での必要な教室数等も示すことにより、統合後に使用する校舎も決めていただきたいと考えている。

教育長 統合後に使用する校舎の決定など、本格的な統合の内容を検討する時期はいつ頃か。

学校適正配置推進室長 検討委員会において、統合時期と使用する校舎の合意が得られると準備委員会に移行するのだが、予算の確保等に期間を要するため、統合の4、5年前に立ち上げる形となる。統合が令和15年度だとすると、令和10年度、11年度には準備委員



会で統合に向けた具体的な準備を進めていくこととなる。

教育長 検討委員会を年1回開催し、統合の合意が得られると準備委員会に移行し、統合までに4、5年かけていくということか。

学校適正配置推進室長 そのとおりである。

委員 交流事業について、どのような内容でどの学年が参加しているか。

学校適正配置推進室長 太平中と城東中の交流事業は、先日、リモートによる合同授業や意見交換を行ったとのことである。

また、秋田西中と下浜中については、下浜中の生徒が新屋の町を散策したり、施設見学したほか、1年生同士で授業を行い、校舎や教室の広さを確認するなど、様々な交流事業を学校間で計画して行っている。交流事業は1年生と2年生が中心となっ

て行っている。  
教育長 両校とも現在の1年生が3年生になった時に統合するが、2年生も交流事業に参加している状況である。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

#### 【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 今後の日程についてお知らせする。3月は臨時会を3月1日（火曜日）午後3時30分に開催し、定例会を3月18日（金曜日）午後3時30分に開催予定である。

教育長 3月臨時会は、3月1日（火曜日）午後3時30分から、3月定例会は3月18日（金曜日）午後3時30分に開催予定である委員の皆様、日程調整をよろしく願います。

#### 【協議事項】

(1) 令和3年度2月補正予算（案）（追加提案）に関する件について

協議事項(1)「令和3年度2月補正予算（案）（追加提案）に関する件について」は、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。